

2014年度 社団法人西大寺青年会議所 スローガン

一般社団法人 西大寺青年会議所
第54代 理事長 中山 稔之



【スローガン】

Do your best

〈基本方針〉

- 一、地域で行う青少年の健全育成
- 一、地域の価値を創造するまちづくり
- 一、会員拡大と資質向上

始めに

53年の歴史は、諸先輩方が一年一年着実に歩んでこられた果敢なる挑戦の上に築かれたものです。永き歴史の上に立つ私たち現役会員に今求めているもの、それは「私たち西大寺青年会議所が地域の未来を担う」という気概であり覚悟であります。

本年度、西大寺青年会議所はスローガンを「Do your best」と掲げ運動を展開してまいります。次なる時代に向かってどんな困難が立ちまはだかろうとも、明るい豊かな社会の実現に向けて邁進できるよう最善を尽くしてまいります。

地域で行う青少年の健全育成

西大寺青年会議所は、明るい豊かな社会の実現に向けて取り組んでこられた諸先

輩の運動により、現在まで50年以上の歴史を持つ組織となりました。我々現役会員もまたその想いを受け継ぎ、次世代の地域発展を担う子どもたちの健全育成に、真剣に向き合わなければなりません。

又、子どもたちを取り巻く環境は、その時代ごとに大きく変化しています。時代の変化に伴い我々は現在の教育環境や子育ての環境を真剣に考えるとともに、それらの地域を愛し、誇りをもって未来の地域を担う子どもたちの、夢や希望を育む事ができる事業を展開してまいります。既に地域の皆様に認知され多数の御協力を頂いている少年はだか祭りは、青少年育成の大切な事業であり、多くの協力団体と連携し継続させられる地域に根ざした事業となるよう努めます。

地域の価値を創造するまちづくり

西大寺という地域は吉井川を中心に門前町としての歴史と文化と伝統を有しており、又、瀬戸内市においても刀剣で有名な備前長船、日本のエーゲ海として知られている海と緑に囲まれた自然豊かな牛窓地域等を有しています。この地域を誇りに思い私たち西大寺青年会議所は地域の人と共に歩んできました。

これらの社会資本を活用し、関係諸団体、行政、地域企業との協力関係を高め価値を創造する事で、地域が活気あふれる様な事業を展開していきます。

そして近い将来発生において高い確率で発生すると言われてしている、東南海、南海地震等の有事に備えるため、2011年に起きた東日本大震災から改めて学び、又、日本各地で起こっている集中豪雨や竜巻被害等を教訓にして、災害に対し連携した支援活動及び情報発信が行えるよう、行政や企業、他団体に災害ネットワークを推進し、連携体制を強固なものに発展させなければなりません。

会員拡大と資質向上

会員数の減少に伴い、会員拡大は日本青年会議所においても大きな課題となっています。我々西大寺青年会議所も今のままでは数年後に半数になるかもしれないという、近年稀にみる危機的状況と言えます。しかし、この様な状況下の中でも会員拡大を成功させている青年会議所があるのも事実です。何故私たちは会員の減少に悩まなければならないのか、再度真剣に考え、そして会員拡大を行っていく上で成功を収めている青年会議所の手法も学ぶ必要があります。

我々が真剣に仲間を増やしたいと思うのであれば、私たちはさらなる資質の向上を目指すことが必要不可欠です。今という瞬間と私たちがどのように向き合い吸収するかには価値を見出し、気概と誇りをもってJC運動を行うことが重要であります。そして入会候補者にその理念をしっかりと伝えることが出来れば、必ずや多くの志高い仲間が集まると確信しています。

結びに

青年会議所は混沌を未知の可能性と捉え、確かな時代を築くために率先して行動することを宣言しています。この宣言を会員一人一人が再認識し、前向きな姿勢で豊かな社会を具現化できるよう、強い信念をもって運動しようではありませんか。「Do your best」地域の未来のために。

一年間の抱負



副理事長 長田智宏

新年あけましておめでとうございます。

本年度、中山理事長のもと、高木委員長が率いる地域活性委員会の担当副理事長を務めさせていただきます。

今年一年間、執行部と委員会をしっかりと繋げるよう橋渡しをし、中山理事長をしっかりと補佐できる様精一杯頑張っております。

今年度、西大寺青年会議所は20名でのスタートと少人数ではありますが、理事長スローガン（Do your best）を念頭に、団結力をより強固なものにしJC運動に邁進してまいります。本年度もご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

**副理事長 塩崎鉄司**

本年度、会員の和委員会担当副理事長を務めさせていただきます。

今年度会員の和委員会では、第1に中山理事長の所信中にもありますように会員拡大に重点を置きながら、会員増強を目標に掲げておられます。

近年、西大寺青年会議所の会員数は20名程度となり、過去60名に達していた頃の半数以下というのが現状です。

会員拡大については毎年LOMをあげて取り組んではおりますが、中々思うような成果が上げられず、このままでは、数年後には10名以下になる可能性もあります。そこで今年は、今までと違うアイデアや手法を委員会には考えて頂き、是非とも多くの新会員を増大して頂きたいと思います。私も微力ではありますが、出来る限りサポートをしていきたいと思っております。

1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

Do Your best

**副理事長 藤本成浩**

新年明けましておめでとうございます。

本年度、中山理事長のもと副理事長を務めさせていただきます藤本です。

本年度は副理事長として中山理事長の補佐と、藤原委員長が率いる青少年育成委員会の補佐をしっかり務めていきたいと思っております。

青少年育成委員会はその名の通り青少年育成を主とした事業を担当いたします。

その中でも本年で43回目を数える『少年はだか祭り』がメインの事業となります。会員減少で厳しい運営状況ではありますがメンバーの団結力と地域の団体様の協力のもと必ずや成功させたいと思っております。

また、本年で本会に入会させていただいて6年目になります。この5年間、先輩方から様々なこと

を教えてください勉強させていただきました。本年は、その教えていただいたこと、経験してきたことを次の世代に伝えていきたいと思います。私自身、現役会員でいらっしゃるのが後4年しかありません。1年、1年を大事にして修練を重ね卒業までに少しでも成長したいと思います。

自分なりに最善をつくしていきたいと思いますので1年間よろしく願いいたします。



専務理事 坪井綾広

新年度への抱負
「拡大」

2013年度は赤木理事長の背中を見ながら、目標を持って一步一步着実に成長できた年だったと思います。昨年、LOMは監事、ブロックでは役員出向並びに本会への出向を拝命され、入会9年目にして一番大きな試練の年を迎えました。そこで抱負を「挑戦」とさせて頂いたのですが、この2文字に本気で想いを込める事で、誇りと気概と覚悟を持って立ち向かえたように思います。また、その勢いに身を任せ、国際アカデミー研修にて多くの感動を世界のJCメンバーと分かち合う事が出来、人生最高の1年にもなりました。

そして、2014年度。専務理事という大役を仰せつかりましたが、担いとしてLOM運営の活発化を図るには、多くの“ひと”が必要です。よって抱負を「拡大」と掲げさせて頂きます。会員拡大は勿論の事、運動や意識の拡大といった、ひとの成長までを含める意味です。2013年度の経験を活かし全力で“拡大”します。

本年、中山理事長の1番のパートナーである事を胸に、メンバーとの絆を大切に共助の精神と誠実さを持って1年間邁進致します。



総務委員会並びに地域活性化委員会
委員長 高木宏太

本年度総務並びに地域活性化委員会委員長を務めさせていただきます高木宏太と申します。今年初めて理事となりますが、いきなり2委員会委員長兼任ということで、一年間身を粉にして尽力したいと思っております。

総務委員長としましては、LOMの運営がきちんに行われる様、LOMの裏方として、確実に業務を行ない、また、地域活性化委員会委員長としましては、昨年3年ぶりに復活したものの、雨天中止となりました吉井川フェスタを開催し、今後継続していく一大事業として必ず成功させたいと思っております。

私事ではございますが、今年がJC生活最後の年となります。一年間、総務並びに地域活性化委員会委員長として中山理事長のもと、西大寺青年会議所が一つとなり、良い事業を行っていくために、日々精進し、全力で職務を遂行していきたいと思っておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

Do Your Best



青少年育成委員会 委員長 藤原辰徳

新年あけましておめでとうございます。本年度『青少年育成委員会』の委員長を務めさせていただきます、宜しくお願い申し上げます。

委員会名を読んで字の如く、地域の青少年達を育成していくという会議所運動の中でも崇高な委員会を仰せつかりました。よって本年度は自分に対し、厳しく律していけるよう努めて参ります。

脈々と受け継がれた伝統ある西大寺青年会議所の名に恥じぬよう誠心誠意、努力して参りますので何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



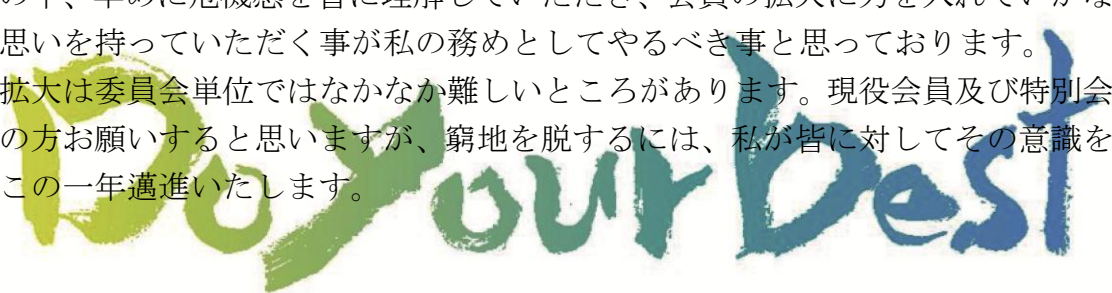
会員の和委員会 委員長 岡崎将明

新年あけましておめでとうございます。本年度、会員拡大を主に携わる会員の和委員会の委員長を拝命致しました岡崎将明と申します。

現在、どの JOM に於いても会員数が減少する中、西大寺青年会議所は 2014 年度メンバー数 20 名からのスタートとなりました。そして、このまま会員の増加につなげる事が出来ない場合、3 年後には現役会員数が現在の約半数となります。そのような事態に陥った場合現在の事業の運営はままならないのが目に見えております。

今この状況の中、早めに危機感を皆に理解していただき、会員の拡大に力を入れていかなければならないという思いを持っていただく事が私の務めとしてやるべき事と思っております。

多数の会員拡大は委員会単位ではなかなか難しいところがあります。現役会員及び特別会員の皆様方にもご協力の方お願いすると思いますが、窮地を脱するには、私が皆に対してその意識を持ってもらう事と思いこの一年邁進いたします。



新会員紹介



川上正行君(2014年1月入会)

初めまして。

本年度より入会させていただくことになりました川上正行と申します。よろしくお願いいいたします。まず、出身地も現在の地域も違います私の入会をお許しいただきましたことに厚く御礼申し上げます。入会してからまだ一カ月足らずで活動内容、「修練 奉仕 友情」の基本理念など全く分かっておらず、仕事との両立が出来るか不安があるのも正直な気持ちです。

本年度の抱負といたしましては、一日も早く会員の皆様と交流を深め、可能な限り西大寺 JC の活動に参加し、何か一つ、どんな小さなことでもいいので地域、西大寺 JC に貢献できたと思えることが出来ればと思っております。

総務委員会、地域活性委員会におきましても何一つ分かりませんが、高木委員長をはじめ先輩方に教えていただきながら、失敗もするでしょうし、足を引っ張ることもあると思いますが、その時の自分に出来る限りの事をしていきたいと思っておりますので、御指導、御鞭撻をよろしくお願いいたします。



阿部哲也君 (2014年1月入会)

今年から西大寺青年会議所に入会しました阿部哲也です。

先日、新年祝賀会に出席させていただきました。そこで青年会議所のOBや関係者の方々にご挨拶をさせていただきましたが、半分くらいの方々から同じことをおっしゃられました。「オヤジにそっくりじゃなあ・・・。声までそっくりじゃなあ・・・。」29年間言われ続けてきた言葉ですが、あの時ほど父親に似ていて良かったと思ったことはありません。父親が道を作ってくれていたのだと、感謝の気持ちが込み上げてきました。この気持ちを忘れず、青年会議所を通して生まれ育った西大寺、そして岡山のために貢献していきたいと思えます。

そして、中山理事長、三枝幹事。私を熱心に青年会議所に誘っていただき、とてもいい仲間巡りに合わせていただいたことを心より感謝申し上げます。まだまだ未熟者ではございますが、先輩方に引っ張っていただいて成長していきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



1月例会



1月8日（水）に2014年度1月例会が開催されました。

中山理事長の記念すべき第1回目の例会であり、あいさつでは今年1年間の覚悟を熱く熱く説明されました。また委員会毎に一年の抱負と各年間事業を説明して頂き、お互いに事業への理解が出来たことと思います。さらに喜ばしい事に1月から川上君、阿部君の2名の新会員が入会し、今年1年幸先の良いスタートとなりました。

総務委員会 委員長 高木宏太

新年祝賀会





1月10日(金)に、西大寺グランドホテルにて、2014年度新年祝賀会が開催されました。御来賓の皆様、友好JCの皆様、そして特別会員の御先輩方に御臨席を賜り、盛大に新年祝賀会が開催されました。大勢で見守る中、やや緊張気味の中山理事長の挨拶でしたが、力強い熱のこもった所信表明を聞き、メンバー一同改めて身の引きしまる思いで、また1年間JC運動へ邁進する覚悟が出来た事と思います。

新年のご多用中の折、御出席頂きました皆様、ありがとうございました。

地域活性化委員会 委員長 高木宏太

発行日 平成26年1月吉日
 発行責任者 中山 稔之
 編集責任者 岡崎 将明
 編集員 柴田 潤也